

第29回・第30回 日本ダウン症療育研究会 (WEB開催)



配信日時 2021年3月12日(金)AM10:00～15日(月)AM10:00

☆配信期間内、随時、繰り返し視聴可

参加費 会員：無料 非会員：2000円

お申込み 本研究会HPより Peatix(イベント管理システム)を通じてお申込み

☆Peatix URL: <http://ptix.at/R1XW6L> →



申込締切 2021年3月11日(木)PM3:00

*コンビニ振込みの場合は3月10日(水)締め切り 詳細はPeatixでご確認ください

☆動画視聴ページのURLを記載したメールをお送りするためにお申込みが必要です

☆「ダウン症児の身体能力とリハビリテーション」

昭和大学病院リハビリテーション科 真野 英寿

☆「詩は生きる力～言葉を育むためにしたこと・しなかったこと～」

村上喜美子・有香

☆「ことばを育てるかかわり～絵本を使ったやりとりの工夫～」

大阪医科大学 LDセンター 水田めくみ

☆「ダウン症児への臨床介入について ～内分泌疾患を中心として～」

大阪医科大学 小児科 黒柳裕一

日本ダウン症療育研究会

URL: <http://plaza.umin.ac.jp/~JSCRD/>



(お問い合わせをご利用下さい)

演題&講師 ご紹介

☆「ダウン症児の身体能力とリハビリテーション」

昭和大学病院リハビリテーション科 真野英寿

日本リハビリテーション医学会専門医指導医であり、都立北療育医療センター城南分園でも診療されておられ、小児リハがご専門であります。「ウィンダース先生のダウン症のある子どものための身体づくりガイド～おうちでできる練習 book」の翻訳を監修され、特に低緊張を示すダウン症児の発達支援・インソール治療に造詣が深く、今回、ご講演をお願いしました。

☆「詩は生きる力～言葉を育むためにしたこと・しなかったこと～」

村上喜美子・有香

20歳になられたダウン症の有香さんは、小学校4年生から詩を書き始め、これまでNHKハート展に6回入選されています。今回の講演では、9歳から20歳まで書き留めたたくさんのお詩の中から6編を集めた初の詩集「弱いはずよ」（風鳴舎）を紹介しますが、とてもウィットにあふれた楽しい本です。

☆「ことばを育てるかかわり～絵本を使ったやりとりの工夫～」

大阪医科大学 LDセンター 水田めくみ

LDセンターでは、学習障害児の指導の他に、ダウン症幼児の言語発達を促す、タンポポ教室も開催しています。この教室では、複数の言語聴覚士（ST）が関わって、インリアル・アプローチを用いた取り組みを行っていて、水田先生は長年この教室で指導をしています。今回は、絵本を一緒に見るという活動の中で、ことばを育てるためにどのような工夫を行っているかご紹介いただきます。

☆「ダウン症児への臨床介入について ～内分泌疾患を中心として～」

大阪医科大学 小児科 黒柳裕一

大阪医科大学小児科で内分泌疾患を担当している先生です。元々新生児科医ですが、ダウン症の成長発達に関心があり、特に甲状腺ホルモンや成長ホルモン、性ホルモンの分泌などに造詣が深く、この分野のエキスパートとして活躍しています。今回は、特に内分泌疾患と身長との関係や介入についての考え方など講演していただきます。

指導員養成コースを受講された方へ ～研究会出席認定のために～

今回の研究会（WEB開催）を申込・視聴された後、A4用紙2枚程度のレポート（各演題に対し、感想等を半ページとして）をご提出ください。幹事会にてレポートを確認し、研究会出席と認められましたら、第29回、第30回研究会の出席といたします。

レポート締め切り：2021年3月29日消印有効

***会員の皆様へ：参加費は無料ですが、お申込み手続きは必須です**